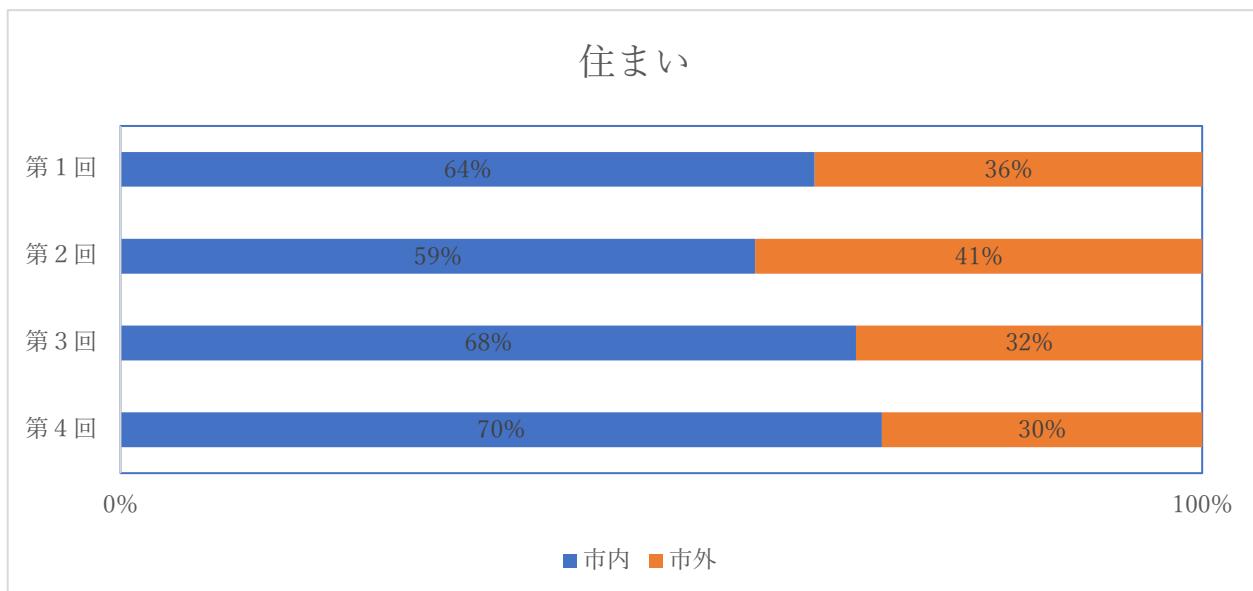


東金まちゼミレポート

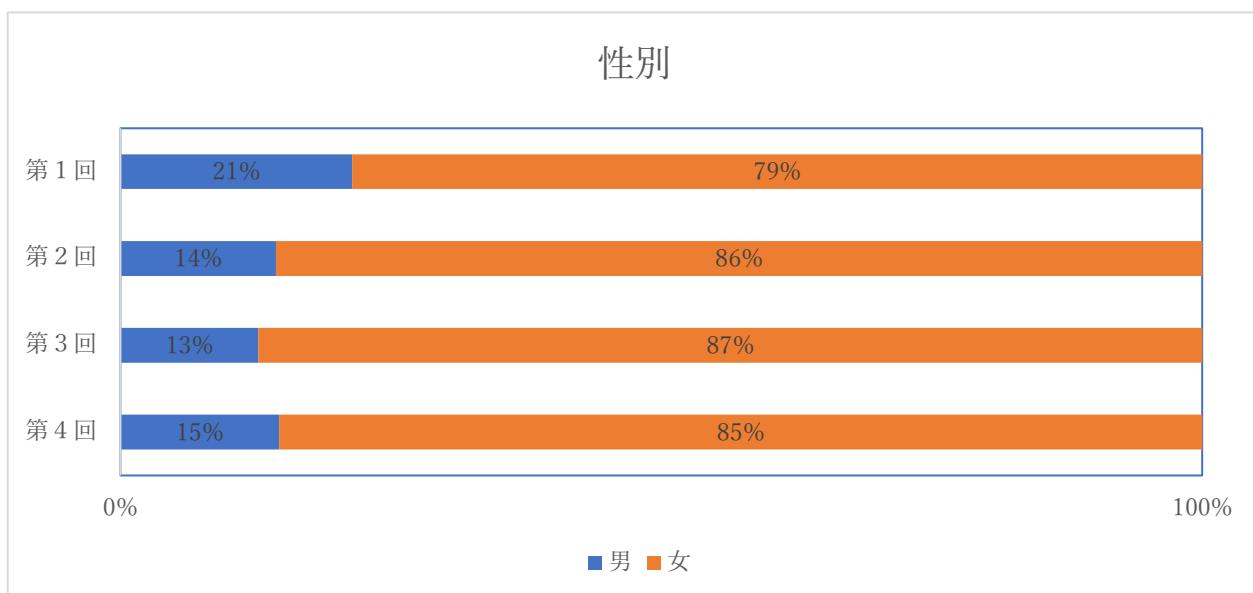
第1回（令和元年度）	全24講座	参加者数254名
第2回（令和4年度）	全19講座	参加者数167名
第3回（令和5年度）	全19講座	参加者数150名
第4回（令和6年度）	全20講座	参加者数152名

※構成比率による比較

1. 受講者の属性について



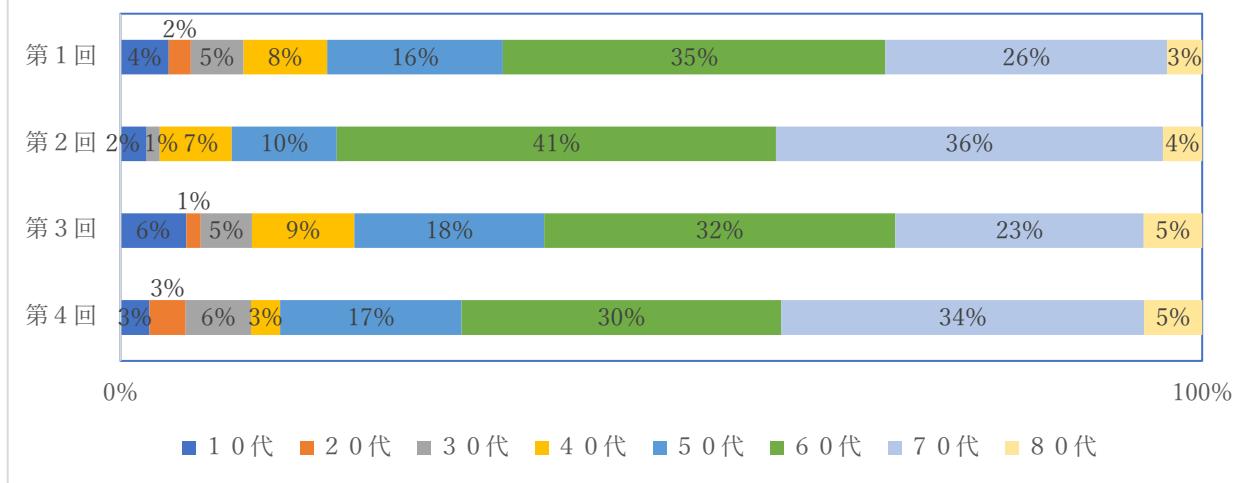
- ・毎回半数以上は市内からの参加者である。
- ・第4回においては市内参加者の割合が過去最高となった。



- ・男女比率については、女性の参加者が大多数を占める。
- ・第4回の参加者についても8割超が女性という結果となった。

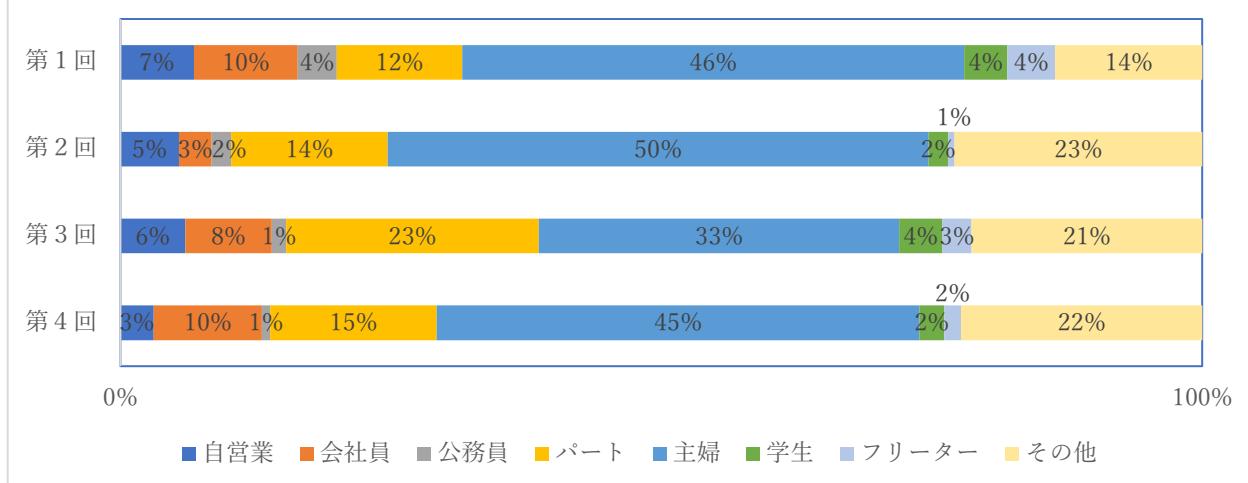
東金まちゼミレポート

年齢層



- 年齢層については70代と60代が半数以上を占め、続いて50代と続く。
- 第4回においては若干ではあるが、20代の比率の増加がみられた。

職業



- 受講者の職業については主婦・パート・その他が大半を占めている。

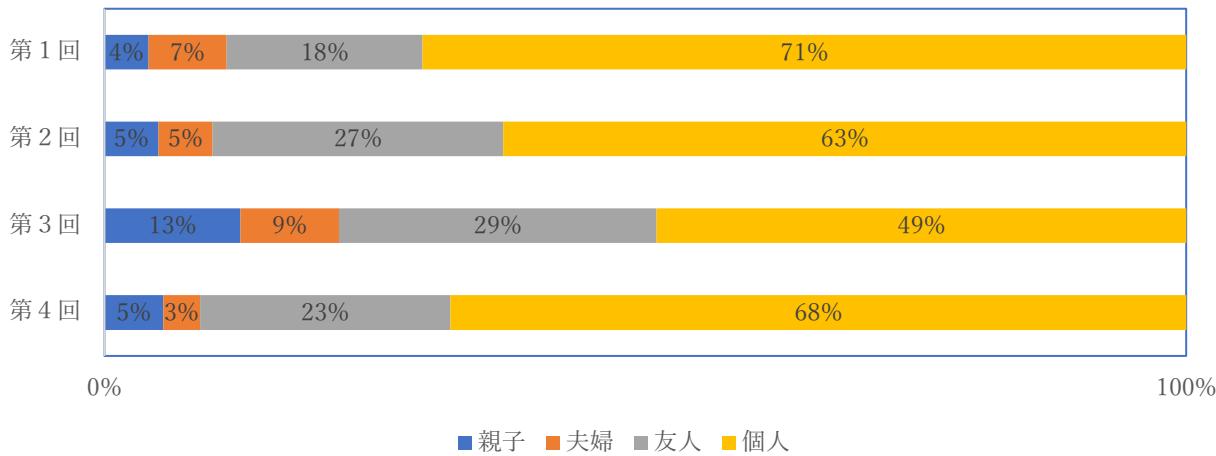
<まとめ>

参加者の属性について、第1回から第4回を通して見ても、松井先生（まちゼミ伝道師、第1回東金まちゼミ説明会講師）の「まちゼミ受講者の8割は50代以上の女性」という統計を裏付ける結果となった。

東金まちゼミレポート

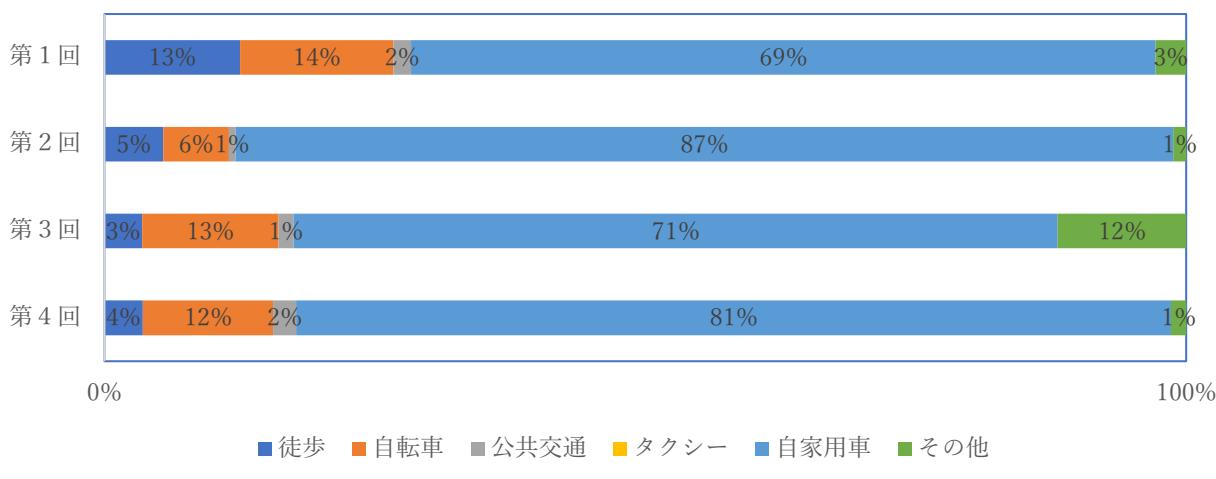
2. 今回のまちゼミ受講について

参加形態



- ・前回と比較して個人での参加が増えた。
- ・友人同士誘い合わせての参加も多い。

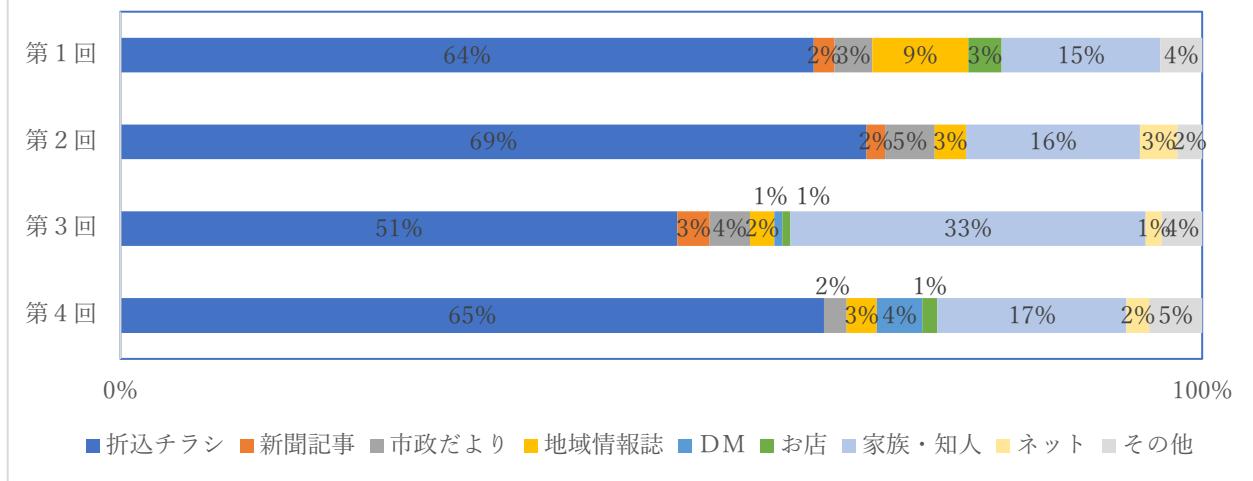
交通手段



- ・交通手段については自家用車での参加が大半である。そのため駐車場所の確保・受付時の駐車場所案内は喜ばれると思われる。

東金まちゼミレポート

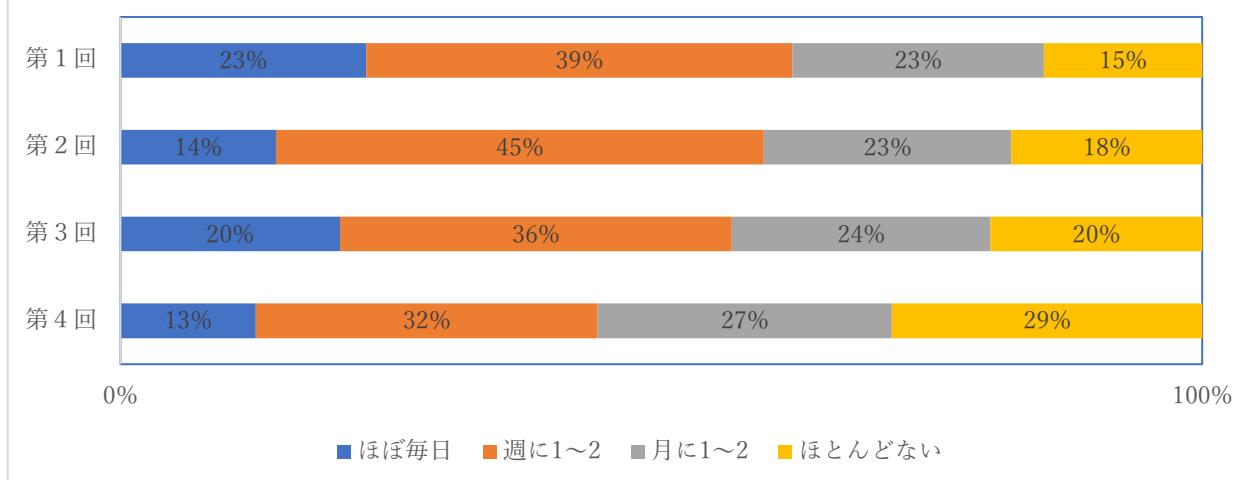
情報入手手段



・前回と比べて、家族・知人の割合が減り、折込チラシの割合が増えた。

・講師店からのDMで参加した人の割合が増えている。

開催地周辺の利用状況



・回を重ねるごとに開催店周辺を利用する人が少なかった層の比率が増加しており、第4回においてもその傾向がみられた。

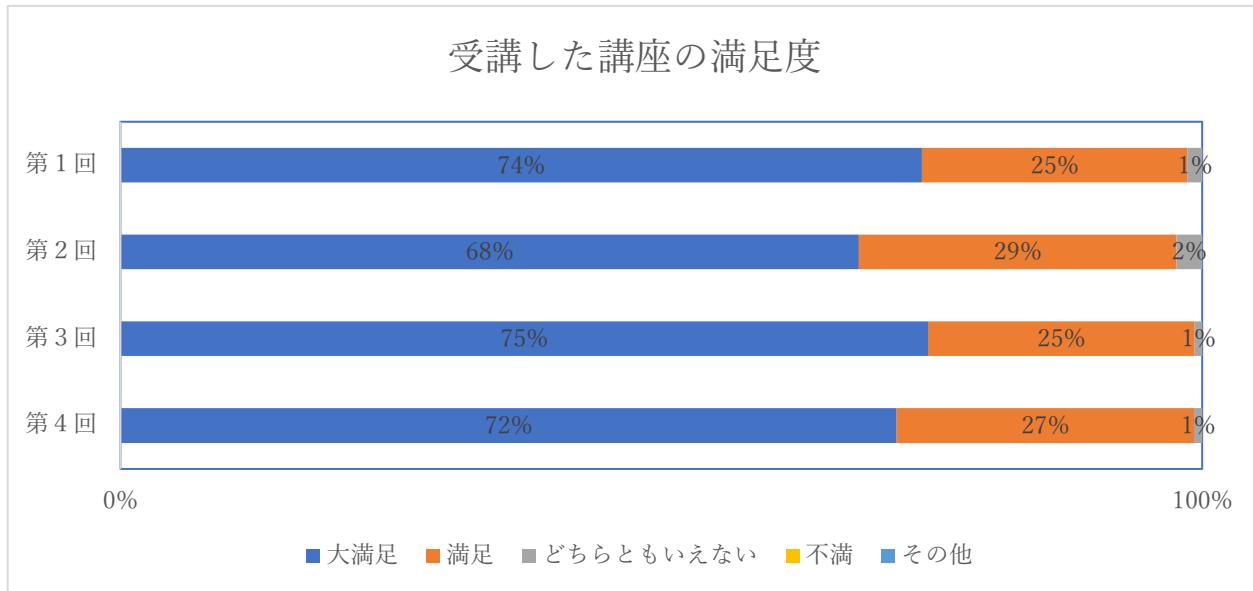
<まとめ>

第4回まちゼミの参加者は折込チラシを見て、個人で参加した人の割合が多い。

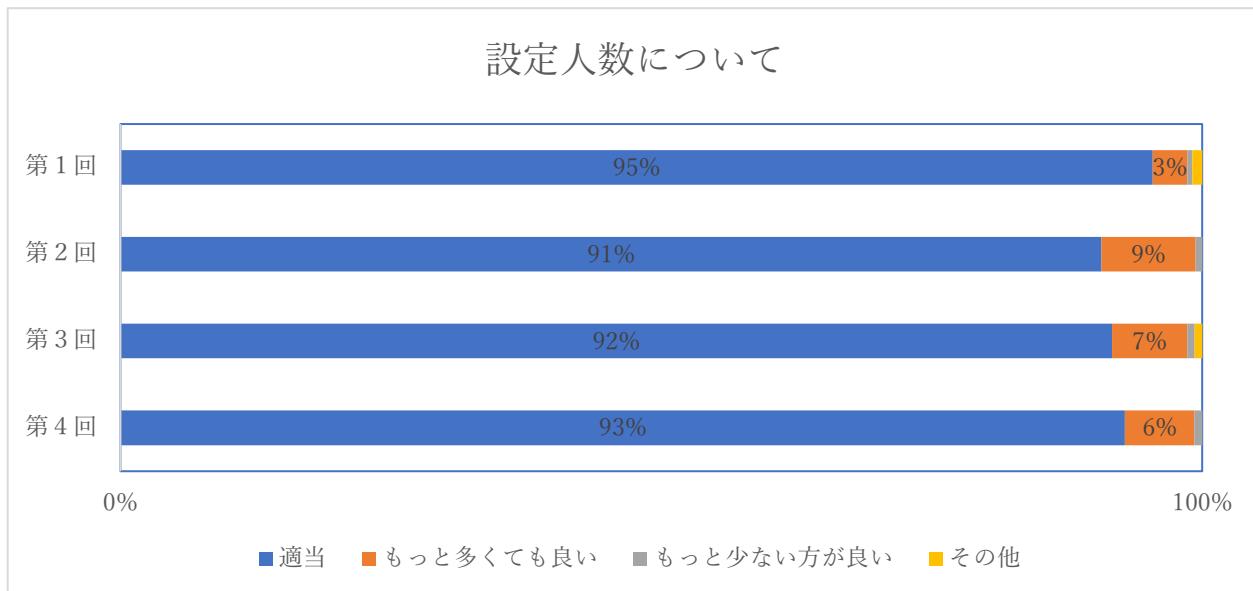
また、まちゼミを開催することによって普段開催店周辺を利用しない層を呼び込むことに成功している。

東金まちゼミレポート

3. 今回のまちゼミの感想

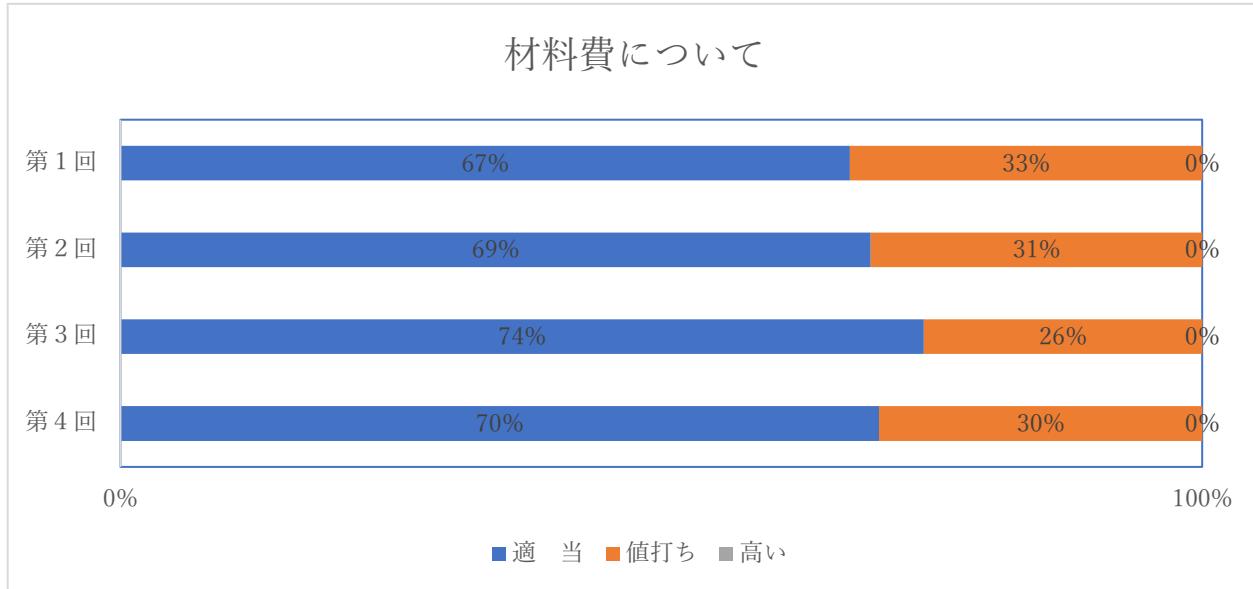


- 受講者の満足度については、大満足・満足が9割以上である。



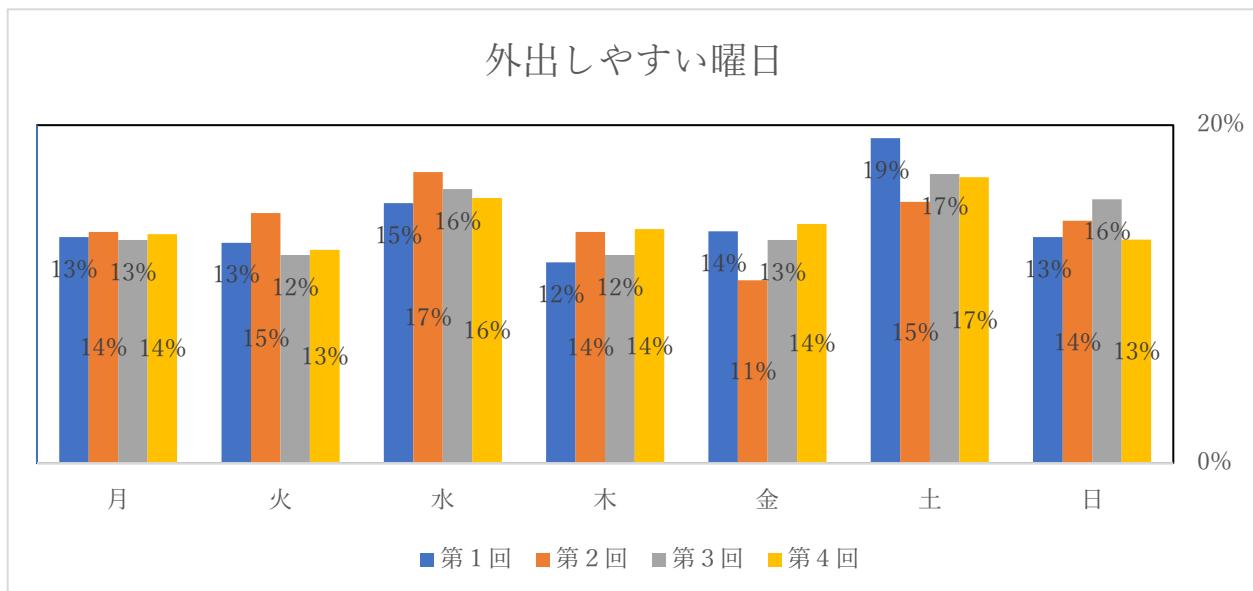
- 設定人数については適当が9割以上。
- 受講者が少ない講座においては「もっと多くても良い」という意見も散見された。

東金まちゼミレポート



- ・適當、値打ちが大半を占め、高いと感じた受講者はいなかったようである。

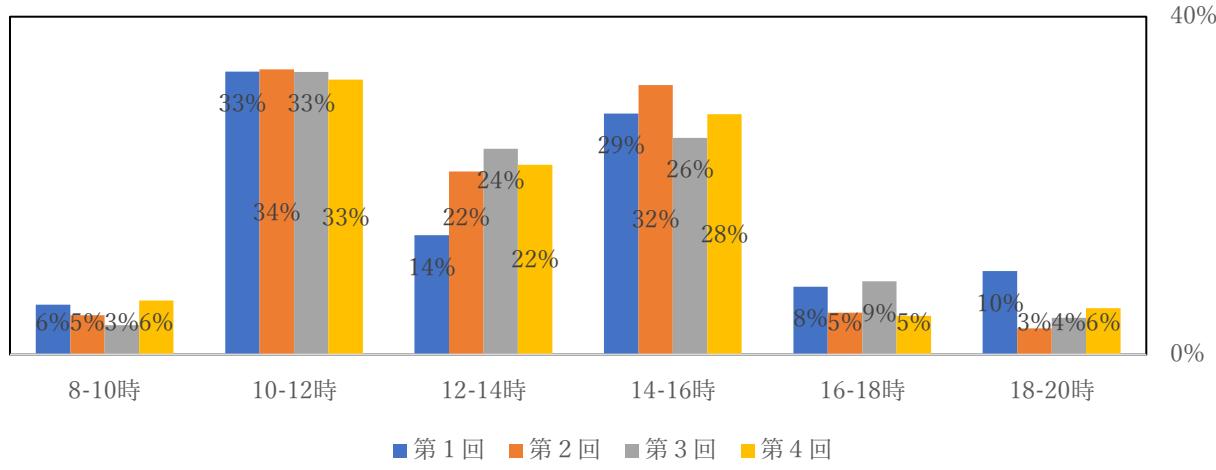
4. 次回まちゼミについて



- ・外出しやすい曜日については特に大きな差異は見られないが、平日だと水曜日、休日だと土曜日が多い傾向にある。

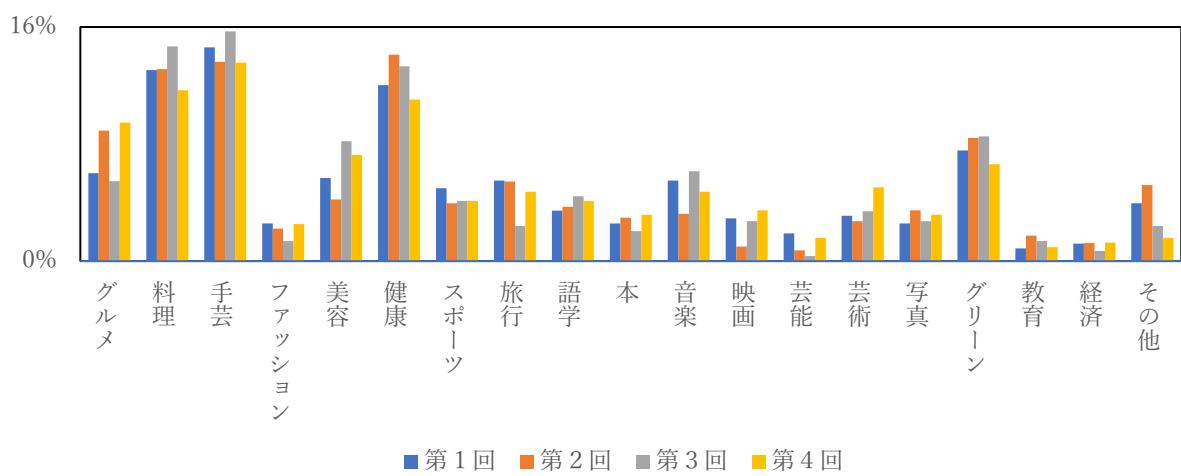
東金まちゼミレポート

外出しやすい時間帯



- ・外出しやすい時間帯は10～12時と14～16時が多い傾向にある。10時～16時の間に講座を行うと集客が見込めると言える。

次回の希望テーマ



- ・開催希望の講座テーマだが、手芸、健康、料理が多い傾向にある。
時点ではグリーン（植物）、グルメ、美容などのテーマが続く。